

# 東山本わかばこども園 園内保育研究会

令和4年9月26日（月）

0歳児・2歳児

ヒラメキ  
わかば  
ちゃん



<研究テーマ>

未来につながれ！わかばのポケット

～夢があふれるこども園～

**【大切にする3つの視点】**

- ① [保育者] 肯定的な見取りからどのようにアプローチするか
- ② [子ども] 安心・安全な環境の中ではどのような姿が見られるか  
[保育者] 安心感の輪を広げるにはどのような環境や援助が必要か
- ③ [子ども] 何にトキメキ、何をヒラメいたか  
[保育者] どのようにトキメキをつくり出し、どのようにトキメキを支えヒラメキへ導いたか

## B. 園内保育研究会

「研究テーマ」に沿った学年ごとの仮説に基づき、視点をもって保育を観察し討議の柱に沿って、観察シートを用いて意見を収集し、グループ討議を行う。

何が育ったのか？  
面白さ・楽しさ・どんな経験ができたか



②

安心・安全な環境の中ではどのような姿が見られるか



③

何にトキメキ、何にヒラメいたか

環境・援助



安心感の輪を広げる

トキメキをつくる

トキメキを支え、ヒラメキへ

読み取りの着眼点  
環境・援助の方向性

① 肯定的な見取りからどのようにアプローチするか



子どもの姿



# 0歳児の様子

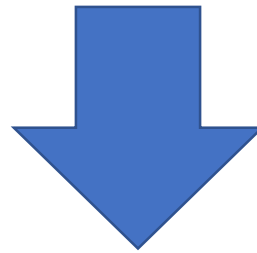


# ①肯定的な見取りからのアプローチ

月齢差が大きいいため高月齢の子どもに遊びを合わせると低月齢の子どもには、危険を感じるが見られ、低月齢の子どもに合わせると高月齢の子どもにとっては物足りない遊びになったりする。

- ➡一人ひとりの興味に合わせた遊びが展開できるように場所を分け、部屋のあちらこちらにやってみたい遊びをちりばめている。
- ➡それぞれが楽しめるような遊具や玩具を整えている。

## ②安心感の輪を広げる環境 ・かかわり



安心・安全な

環境の中で  
見られる姿



応答的なかわり

共感

牛乳、おいしいね。



あっち見て!



一緒に入る?



先生の顔が見えるよ。



## 小さな集団

ボール入れた  
い

こっちから入れ  
たらどうなるの



覗いてみよう。



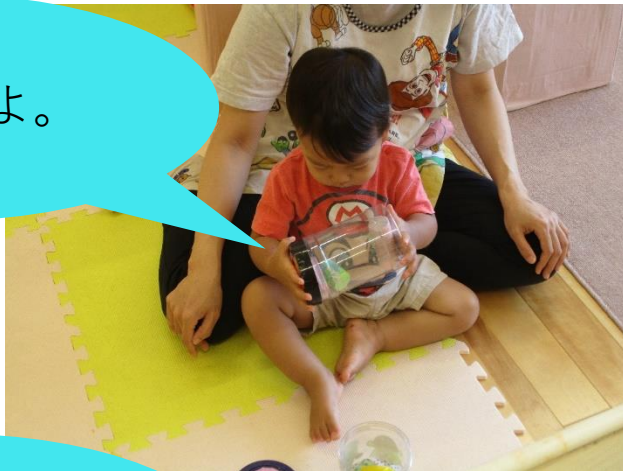
私は、紐が気  
になるの。

ここが落ち着  
くな。



## 環境のつくり方

やってみよ。



はい、どうぞ。



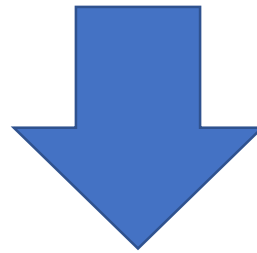
こっちから入れ  
るよ



下から出て  
きたよ。



③どのようにトキメキをつくりだし  
どのようにトキメキを支え  
ヒラメキへ導いたか



何にトキメキ？

何にヒラメいた  
か？



# 応答的なかわり

ムシャ  
ムシャ。



次はこれ  
ちょうだい。

こっちが  
いい。

僕もモグモグ。



# 身近な物を使った環境



バリバリ剥がせるの?

こうしたら入るの?



# 一緒に・繰り返す

上に何が  
あるの!



風船持てたよ。

触りたいな。





②安心感の輪を広げる環境・  
かかわり

### 応答的なかかわり

繰り返し反応する  
子どもの言葉を繰り返す  
一つずつ丁寧に反応する  
一対一でかかわる

### 共感

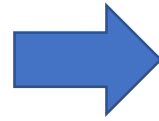
子どもの内面を読み取る  
なぜ泣いているのか察知する  
気になっているものに気づく

### 小さな集団

保育者も一緒に遊ぶ  
側で見守る

### 環境のつくり方

感覚を刺激するおもちゃ  
手づくりおもちゃ  
発達にあった動きができる  
仕切り  
保育者のやりとり



安心・安全な環境で見られる姿

### 主体的に遊んでいる

「お腹すいた」「トイレ」など生理的欲求を自分なりの表現で伝える

自分で遊びを見つける

笑顔 指さし 喃語

保育者との信頼関係

保育者や友だちの真似をする「マンマ～」と口が動く  
やってみようとする

繰り返し遊ぶ

保育者と一緒に遊ぶ

保育者の手を引いておもちゃのところへいく

保育者がいなくても遊べる

③どのようにトキメキをつくりだしどのようにトキ

メキを支えヒラメキへ導いたか

### 応答的なかわり

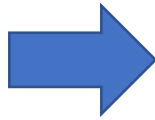
誘いかけや応答の言葉  
表情の読み取り  
保育者の行動や反応  
一人ひとり丁寧な対応

### 身近な物を使った環境

月齢差に応じた遊びや場所の確保  
一人でじっくり遊ぶ  
したい遊びが見つかる

### 一緒に・繰り返す

保育者と一緒  
心ゆくまでできる楽しさ・満足感  
やろうとしてることを見守り・手  
伝う



何にトキメキ？

何にヒラメいた？

### 五感

入ってみようかな  
音が鳴ると何かが始まる予感や期待  
感触・光、感覚、音

### 偶然見つける

蓋を回すと開くこと知る  
叩くと音がでる  
手を伸ばすととどく位置におもちゃがある  
遊びたくなるおもちゃが近くにある  
意図した動きではなくても、遊びが見つかる  
チャックを開けたい カゴに食べ物を入れたい  
壁や床にも遊べる物がある

### 友だちの姿

友だちがしていることを見て喜ぶ  
同じことをやってみようとする（風船がポン、  
ボールが転がる）

### 保育者の姿

保育者の姿を見て興味を示す  
遊びのモデルになり一緒に遊ぶ（ビリビリ剥がす、どうやっ  
たら落ちるかな）  
保育者の声や表情に面白さを感じる





## ～保育者の感想～

どんなかかわりをするのか、指導案の言葉の意味や遊びの意味をしっかりと考えることが当日の保育へつながっていくと感じました。

天蓋をつくるために、久しぶりにミシンを使いました。保育の中で活かせるスキルを増やしていきたいと思いました。



# 2歳児の様子



# ①肯定的な見取りからのアプローチ

## 何をしていいか戸惑っている

➡その子どもにとって難しさを感じているのではないか。楽しめることは何かを探す。

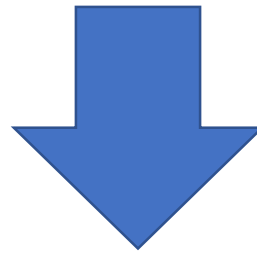
## 保育者にやってほしいと訴える姿がある

➡発達の過程であると捉え、まずは、受け止める。

➡一人ひとり良い所を認めるようにする。

➡やってみようかと誘いかける。やってみていいよと受け止める

## ②安心感の輪を広げる環境 ・かかわり



安心・安全な

環境の中で  
見られる姿



それぞれの子ども気持ち  
を大切にする

子どもと相談して決める

あと、これだけ  
食べよ。



水筒はここへ  
片づけるの。



僕のマイクでお  
話するよ。

シートはここに  
置くよ。



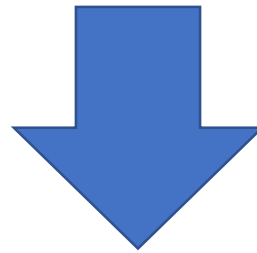
頑張りを認める

お話したいの。

みんなかっこよかったよ。  
まる～



③ どのようにトキメキをつくりだし  
どのようにトキメキを支え  
ヒラメキへ導いたか



何にトキメキ？

何にヒラメいた  
か？



# 遊びが発展していくための援助



ここを滑っていくよ



走っていくよ。



ごはん食べてるよ。

トンネル通って出てくるのかな。

赤ちゃんにご飯をあげる。



ごはん食べてるよ。



# 経験が遊びになるように

トンボの眼鏡は  
何色めがね？

トンボいっぱい  
いるよ。



トンボをくっつ  
けよう。

# 子どものやりたいを実現

# 自然な流れ



お兄ちゃん  
かっこいいな。

お外で何をしてる  
のかな。



# 子どものやりたいを実現

赤ちゃんのお世話  
したいの

具合はどうですか。

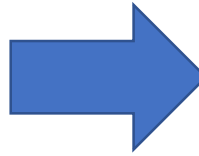


耳かきしま  
しょうね。





## ② 安心感の輪を広げる環境・かかわり



### 子どもと相談して決める

コップの片付け方  
どれくらいなら食べられるか一緒に決める・量の調節

### それぞれの子どもの気持ちを大切にす

体操したくない気持ちを受けとめ

「お客さんしとく?」と提案

好きな所だけ参加することを認める

恥ずかしがる姿を見守る

全員分のマイクを用意

### やりたいの実現

カエルの帽子、トンボをもって園庭に  
トイレに行きたい子どもに「赤ちゃん抱っこしとくよ」

### 頑張りを認める

登園したことを褒める  
運動会の頑張りを認める

### ちょうどいい環境

### 離れた場からも声かけ

安心・安全な環境で見られる姿  
自分で決める

チーズ嫌やけど食べる量を決める  
一人ひとりやりたい気持ちを出す

マイクを一人一つもって歌う

体操を見ている

好きな場所で遊ぶ

ままごとをテラスにもっていく

ピクニックをしながら運動会のお客さんになる

保育者や友だちの存在

その場の保育者のまわりに自然と集まる  
いつもの遊びを友だちと一緒に楽しむ

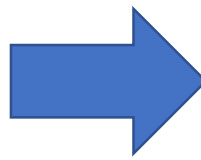
いつも同じ流れ

おやつ→トイレ→朝の会

受けとめてもらえる

担任ではない保育者に思いを伝える

② 安心感の輪を広げる環境・かかわり



安心・安全な環境で見られる姿

環境

赤ちゃんもいっぱい  
量や場所を選べる  
じっくりと遊べる時間  
分類されて片付け易い  
廊下やテラスを自由に行き来  
Myマイク  
外にトンボをもっていく  
囲われた空間

配慮

子どもの食べられる量  
自分で自分のことをしやすい  
おやつの片付け方

保育者のかかわり

一人ひとりに声掛け  
運動会がんばったねの  
ヨシヨシ

一人ひとりを大切に

「大丈夫」「やってい  
いよ」の声掛け  
受けとめるそこからど  
うするか→励ます  
受けとめる

自分の思いを伝える

〇〇はしたいけど△△はいや  
子どもが先生になり手遊びをする  
その都度やりたいことを伝えている  
「一緒にしたい」「やりたい」と伝  
える

やりたいことを自分で見つけてやっ  
てみている

最初は保育者と一緒にしていたが夢  
中になると一人でイメージしながら  
遊ぶ

③どのようにトキメキをつくりだしどのよ  
にトキメキを支えヒラメキへ導いたか



何にトキメキ？何にヒラメいた？

## 自分で考える

みんなで座るには狭い→もう1枚シートがほしい

テラスにシートを敷き遊び場に（ままごと・お医者さんごっこ）

## 試行錯誤

車がトンネルを通る様子を横から見る

## 遊びの広がり

トンボを洗濯バサミに挟む、外す

トンボをもって遊ぶ

赤ちゃんにミルク→お医者さんごっこへ

## 友だち関係

友だちのエプロンが無い→持ってきてあげる

赤ちゃんを次々連れてくる→友だちの真似

## 友だちや保育者の刺激

保育者や友だちが楽しそうに体操をしているのを見て自然と参加

## 自分で選べる環境

テラス・廊下・室内を自由に行き来  
自分で選び、決める

## 子どもやりたいを実現

手遊び・体操・歌など自分たちで発言し決める  
子どものやりたいをすぐに取り入れる  
自由な発想を受けとめつなげる

## 自然な流れ

「お外へいきたい」→片付けやトイレを済ませてから誘う

## 子ども同士の認め合いを

保育者の声を聞き「○○ちゃん上手やった」と褒める

## 遊びの発展をしていく援助

坂道にトンネルを貼る

## 経験が遊びになる

製作物で遊べるように運動会で経験したことを遊びに

③どのようにトキメキをつくりだしどのようにトキメキを支えヒラメキへ導いたか



## 環境を再構成する

横に並んで塗り絵ができるようにする  
子どもの今を受けとめ言葉かけや遊び場をかえる

## 子どもやりたいを実現

室内遊びだったが子どもの外に出たいきもちをうけとめる  
「ご飯食べながら見る？」→運動会を見に行った子へ

トンボの眼鏡1色だけでなく見る位置によって色が変わる仕組みをつくる

何にトキメキ？何にヒラメいた？

### トキメキ

自分のトンボへの愛着（体温計にする）  
トンボをさかさまにした  
トンボの眼鏡を覗いてみる  
トンボの眼鏡を手にとって友だちと一緒にみたい  
運動会の曲が聞こえ、見たい  
お兄ちゃん、お姉ちゃん何か始めたで何してるのかな  
全員分のマットを敷いてあげる

### ヒラメキ

赤ちゃんを連れてテラスに出たい、運動会の練習を見たい  
赤ちゃんとお絵描きしたい  
赤ちゃん私も連れていきたいその後赤ちゃん塗り絵をしたい  
（弟・妹）のお世話も上手  
味付け、いろいろな調味料家庭での経験  
水を出す止める、まだ出てる  
シートを敷いてピクニック、お料理ももっていこう  
みんなで座るに狭いからもう1枚シートがいる  
赤ちゃんの服を脱がして病院ごっこ





## ～保育者の感想～

日々大切にしていることを、言葉や文章にして振り返り、指導案を立てることは、大変だったけれど楽しかったです。子どもたちの「こんなことをやりたい」を「楽しそうやってみよう」へ実現していけるようにすることが大切だと思いました。